

在宅医療・介護連携事業の実施内容(H27～R3)

	ア.地域の医療・介護の資源の把握	イ.在宅医療・介護連携にかかる課題の抽出と対応策の検討	ウ.切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	エ.医療・介護関係の情報共有の支援	オ.在宅医療・介護連携に関する相談支援	カ.医療・介護関係者の研修				キ.地域住民への普及啓発	ク.在宅医療・介護連携にかかる関係市町村の連携
						市内	南加賀(リーダー研修)	かかりつけ医研修	脳卒中連携バス研修コラボ研修		
H27	○診療所等の在宅医療への取り組み状況やケアマネジャー等が相談しやすい時間帯についてアンケートを行うなど、地域の在宅医療資源を把握し共有について検討。 ○医療機関(病院・診療所)へのアンケート調査により、在宅医療の取組状況、対応できる処置・検査、コメディカル・ケアマネジャーからアポイントの取りやすい時間等をまとめたリストを作成。	○H25から、意見交換、検討会、アンケート等により課題把握等を行っている。 ○課題ごとにワーキング形式で協議する。 ○全体調整を行う「幹事会」のような会議の実施は必要ないか調整。 ○市内病院、介護事業所の看護師、ケアマネジャー、ソーシャルワーカー等、による入退院患者の情報共有にあり方について検討会を実施。	○先進地への視察等を含め、他地域の取組事例も参考にしながら、体制構築を検討する ○切れ目の無い体制＝急変時、増悪時の入院受け入れ等、病院でのバックアップ体制、まずは市民病院(新病院)において受け入れる姿勢を取れるかどうかを検討	○例えば、脳卒中連携バスの地域内での浸透を図るような研修は、可能なものから随時実施する。 ○県はICTを活用した情報共有について補助メニューを増設(基金事業)=診療所、訪問看護ステーションで「ID-Link」の活用を検討 ○(ア)のアンケートで、介護職等から医師へアポイントを取りやすい曜日、時間帯、医師からの要望なども調査。介護関係者にも共有し、ケアマネ等からの連絡、情報共有がしやすくなるよう図る。	○新病院に在宅医療・介護連携支援センター(仮称)を設置し、コーディネーターを配置する事を想定27年度下半期から市民病院で先行実施することも念頭に、上半期に実施体制を検討・調整する。 ⇒3月の厚労省資料では「支援センター」の名称は「手引き」にあるのみ。関係者に理解されるような名称を設定し、相談窓口機能を設ける。 ○相談支援の窓口を新病院(加賀市医療センター)の地域連携部門に置く方向で検討。	○多職種が顔を合わせて行う事例検討や、医療と介護が互いの仕組み、制度などを理解できるような研修・勉強会などを企画する。 H27.5.30 小規模多機能ケア研修会	○加賀地区地域リーダー研修(南加賀) H27.3.2(担当：小松市)メインテーマ 「住み慣れた地域で暮らすために」 講演Ⅰ 「石川県七尾市中島町における認知症早期発見予防プロジェクト」 講師：山田 正仁先生 講演Ⅱ 「家族介護者と向き合うということ」 講師：山谷 靖昌氏	○かかりつけ医認知症対応型向上研修地域事例検討会 第1回 H28.3.8 「認知症問診のポイント」講師：長谷川英裕医師 「専門医に紹介する時のポイントについて」 講師：白崎直樹医師 「レビー小体型認知症」講師：喜多克尚医師 第2回 H28.3.14 「認知症薬の副作用について」 「ケア会議での医師の役割」 講師：喜多 克尚医師 「認知症医療と介護の連携」 講師：長谷川英裕医師 (医師会に委託されたかかりつけ医認知症対応型向上研修を連携グループで実施)		○市の広報等活用し、周知啓発を行う。 ○市民を対象とした講演会を実施。 ⇒南加賀3市医師会の協議で、加賀県民公開講座の実施担当となった。(県予算で実施)要望に基づき、新病院・在宅医療に関する出前講座を実施。(県医師会事業の加賀地区県民公開講座を実施。南加賀3市1町対象) ○県民公開講座 H28.1.17 (担当：加賀市) 「いつまでも、家で暮らせるの？おひとり様でも大丈夫？」 講師：小笠原内科 院長 小笠原 文雄氏	
H28	○在宅医療の資源のリストの関係間での共有・改善検討 H28.6 まとめ冊子配布(5月末から6月中旬) H29.1 歯科・薬科(調剤)アンケート実施	○医療と介護の連携ワーキング・資源の把握・共有 (ア)と同じ ・ICTを用いた医療・介護情報共有 (エ)と同じ ・ワーキングのねらいを検討した。 (第1回) H28.9.2 (第2回) H28.10.19 (第3回) H28.12.6 (第4回) H29.3.27 医療と介護の連携について自分たち(当事者)どうして課題解決する自主的な取組ができる。 ○加賀市在宅医療連携推進協議会 幹事会 H28.12.15 ・これまでの経緯・取り組み状況について ・今後の取組の方向性等について	○加賀市医療センター開院に伴い「地域連携センターつむぎ」内に地域連携部門に加え、地域包括支援サブセンター、地域医療推進室を設置。	○ICTを用いた医療・介護情報共有推進 ICTを用いた医療・介護情報共有推進モデル事業 ID-Link在宅運用WG会議(第1回) H28.7.11 ○ID-Link運用ツール等協議(4月末から6月中旬) ○ID-Link実証運用(4月末～)	○地域連携センターつむぎを窓口に位置づけ ○在宅医療コーディネーターの配置(H28.5) ○H28.9.9 在宅コーディネーター 能美市視察	○医療と介護の合同勉強会 第1回 H29.2.28(参加者 40名) 「薬剤師に聞いてみよう～薬に関する悩みや疑問解決のヒント！～」	○加賀地区地域リーダー研修会(南加賀) H28.9.30(金) 講師：樫本 真事氏 「生活に戻るための医療」(担当：加賀市)	○かかりつけ医等認知症対応型向上研修地域事例検討会 第1回 H28.11.28 「診察の場面でのご気付き(初期段階)」 講師：白崎 直樹医師 喜多 克尚医師 第2回H28.12.19 「認知症と間違いやすい病気、連携のポイント」 講師：長谷川 英裕医師 田端 修医師		○健幸長寿講座 H28.10.1 「その人らしい生活を実現するための医療」 ～医療への"依存"から医療への"活用"へ～ 講師：樫本 真事氏 ○かもまる講座等 H28.7.26 三谷地区会館 H28.11.15 関栄公民館 H28.12.4 耳聞山会館 H29.2.10 大聖寺京町地区 H29.3.26 湖北地区 ○加賀地区県民公開講座	H28.11 全国研修会 高浜町視察研修(12月中旬～1月)
H29	○病院、診療所を対象に在宅医療の取組状況等を調査し、リスト(冊子)を作成 課題：内容の充実・既存の情報との重複、機能の分担。 在宅医療資源まとめ冊子(ケアマネジャー連絡会等で説明)配布	○医療・介護の専門職によるワーキングにおいて、連携推進の対応を検討→勉強会を企画・実施 ○事業所訪問課題等整理(4月) ○事業所(ケアマネジャー)訪問結果のフィードバック(5月下旬)	○病院ではレスパイト入院の対応(5病院)、地域包括ケア病棟・病床の導入(2病院)が広まっている。	○石川県医師会のモデル事業で、1診療所・4訪看ステーション(加賀たちばな元気クリニック・訪問看護ステーションえがお・訪問看護ステーション加賀・サンウェルズ訪問看護ステーション)にID-Linkの環境を整備。 ○在宅医療でのID-Linkの利用	○加賀市医療センター内に相談窓口を設置。 ○在宅医療コーディネーターを配置し、ケアマネジャーや包括支援センター職員からの医療に関する相談に対応。 ○地域連携センターつむぎ(加賀市医療センター内)(コーディネーターの職種、主な役割)職種：看護師(医療福祉連携士) ○専門職からの相談対応・介護の各種会合等に参加し、医療・介護連携における課題等を抽出。 ○在宅医療コーディネーターが市内の介護事業所を訪問。ケアマネジャー・訪問看護師等と面談し、医療と介護の連携にかかる現状と課題点・サービス提供の状況等についてヒアリングを実施。	○医療と介護の合同勉強会 第1回 H29.8.29 「ケアマネジャーってどんな役割？」(参加者 47名) 第2回 H29.10.11 「看取りをどうする？」(参加者 97名) 第3回 H30.1.17 「口腔ケアは大事。歯科医師に聞いてみよう！」(参加者 39名) 第4回 H30.3.23 「介護職にも役立つ医療の知識」(参加者 40名)	○加賀地区地域リーダー研修 ※大雪のため中止 H30.2.15 「地域包括ケアシステム構築への医療からのアプローチ」 講師：斎川 克之氏	○認知症対応型向上研修 加賀市地域事例検討会 第1回 H29.11.16 「認知症の生活障害を聞き出すポイント」 講師：白崎 直樹医師 第2回 H29.12.11 「専門医等との連携の手順(手続き)」 講師：長谷川 英裕医師 課題：医師の参加が少ない。	○脳卒中地域連携・コラボ研修 H29.10.5 [FIMってなんだ？～FIMを知れば生活が見える～] 講師：やわたメディカルセンター池永康規先生	○健幸長寿講座 H30.1.14 「在宅医療知っていますか？」 ～住み慣れた場所で自分らしく過ごすため～ 講師：オレンジホームケアクリニック 紅谷浩之氏 ○かもまる講座 H29.6.8 加賀市の地域医療 湖城町町民会館 ○住民と共に考える企画(地域医療を守る取組と併せて)(6月～9月)	○石川県医師会主催の県民公開講座、地域リーダー研修の企画運営に管内自治体も参画 ○他市の在宅医療コーディネーター、担当職員との情報交換 ○他市の在宅医療コーディネーターとの情報交換研修会の見学
H30	○在宅医療資源情報を冊子にまとめ、関係者に配布 ○歯科医院・薬局情報の追加の検討	○医療と介護の連携ワーキング(H30.7.10) ・医療と介護の連携上の課題の解決に向けた検討 ・事例を用いた勉強会の企画 ○加賀市在宅医療連携推進協議会 幹事会(H31.1.23) ・取組状況の確認、情報共有 ・訪問看護連絡会出席連携課題等整理(通年)	○入院時からの情報共有ルール化の策定 ○加賀市地域連携実務者連絡会等で医療、介護が互いに必要な情報の検討を行う	○加賀市医師会が求める情報(経過記録・サマリ)を開示する事で、既存ツール改善を図りICTを用いた医療・介護情報共有(ID-Link)の利用推進 ○ID-Link在宅運用推進看護サマリ等情報共有ツールの改善(4月中旬～9月)	○地域連携センターつむぎを相談支援の窓口位置付け、在宅医療コーディネーターの配置の継続 ○随時相談 ○コーディネーター機能の分担、コーディネーターの相談支援(4月～6月) ○介護サービス事業者協議会等で医療センターの連携取組報告(7月～9月)	○多職種による事例を用いた勉強会 H30.6.7 第1回(参加者 84名) 「H30年度ダブル改正からみえる地域包括ケアシステムの推進に向けて」 講師：佐原 博之氏 「加賀市医療センターの取組について」 講師：白崎 直樹医師 H30.9.20 第2回(参加者 58名) 「独居の看取り」を考えよう 事例検討会 H30.12.17 第3回(参加者 64名) 「人生の最終段階における医療とケアの意思決定を考えよう」	○加賀地区地域リーダー研修会(南加賀) H31.1.15 「支援に繋がりにくい人への対応」 講師：池田 恵利子氏 「生活支援等に関する親族と成年後見人の違い」 弁護士：山腰 茂広氏	○かかりつけ医等認知症対応力向上研修地域事例検討会 H30.10.4 第1回 「長谷川式認知症スケールを再度見直そう」 講師：白崎 直樹医師 「長谷川式認知症スケール検査実施のポイント説明」講師：喜多 克尚医師 第2回「認知症の診断と治療」 講師：須藤 哲氏医師 「初期集中支援チームについて」 講師：長谷川 英裕医師	○脳卒中地域連携バス研修会 H30.11.14 「脳梗塞の再発防止～お薬と生活習慣について～」 講師：白崎 直樹氏	○健幸長寿講座 H31.1.26 「在宅医療とものがたり」 ～この街で最後まで自分らしく過ごすために～ 講師：医療法人社団 ナラティブホーム ものがたり診療所 所長 佐藤 伸彦氏 ○かもまる講座等(H30年度) 東谷地区 内容：加賀市における救急医療の現状報告、在宅医療と医療体制等について ○加賀地区県民公開講座(南加賀) H30.12.2 [子供たちの力で知己はもつとつながり合える] ～認知症やいのちの尊さについて一緒に考えましょう～ 講師：川越 正平先生	○県内他市町の取組状況について情報交換 ○在宅医療・介護連携推進事業研修会(第1回)(6月)(第2回)(1月)(第3回)(3月)
R1	○在宅医療資源情報を加賀市医師会ホームページ上で公開、パスワードを関係者に配布。 ○新規データベース上に医療機関・歯科医院・薬局情報の追加	○医療と介護の連携ワーキング(R1.5.20) ・医療と介護の連携上の課題の解決に向けた検討 ○加賀市在宅医療連携推進協議会 幹事会(R1.8.21) ・取組状況の確認、情報共有 ○在宅推進会議より連携課題等整理(毎月開催)	○改善した看護サマリ評価のため、介護事業所等にアンケート調査を実施。 (令和元年9月発送・10月15日頃に回収) ○本人の望む暮らしに沿った日常療養支援における連携のために、つむぎ内で「医療福祉相談対応シート」を作成した。	○加賀市医師会が求める情報(経過記録・サマリ)を開示 ○市内医療機関にID-Link利用促進のための講演会開催の周知	○地域連携センターつむぎを相談支援の窓口位置付け、在宅医療コーディネーターの配置の継続 ○随時相談 ○医療と介護の連携におけるアンケートを各介護事業所へ発送(9月発送・10月15日頃に回収) ケアマネジャー連絡会にてアンケート結果の報告(2.13)	R1.10.13 ACP研修会 ※台風により中止(12月12日に振替) R1.10.30 視察 春日井市民病院(参加者25名) R1.12.12 ACP研修会 「人生の最終段階における医療ケアの決定プロセスに関するガイドライン」 「アドバンス・ケア・プランニングについて」 講師：三浦 久幸先生(参加者 109名) R2.2.14 ACP勉強会 「共有意思決定支援(SDM)を用いたACPの話し合い体験と気づき」 講師：後藤 友子氏(参加者 60名)	○加賀地区地域リーダー研修会(南加賀) R1.11.24 「みまもりあいプロジェクトとアプリの紹介」 講師：高原 達也氏	○かかりつけ医認知症対応型向上研修 地域事例検討会 第1回 R1.10.7 「レビー小体型認知症とパーキンソン病の見極め方と治療について」 講師：喜多 克尚医師 「かかりつけ医が専門医につないだ後のサポートについて」 講師：加藤 文彦医師 第2回 R1.11.15 「精神障害や知的障害、発達障害がある家族への支援のポイント」 講師：長谷川 英裕医師 「認知症状の進行を含めた認知症予防法について」 講師：白崎 直樹医師	○脳卒中地域連携バス研修会 R1.11.29 「支援を望まない人への対応」 講師：辻 利英子氏	○加賀健幸長寿講座 R2.1.25 「人生会議してみませんか？」 ～最期まであたらしく生きるためにできること～ 講師：オレンジホームケアクリニック 副院長 西出 真悟氏 ○こころまちフォーラム R2.3.14 (新型コロナウイルス感染症の為中止)	○在宅医療・介護連携推進事業研修会(第1回.6月)

	ア.地域の医療・介護の資源の把握	イ.在宅医療・介護連携にかかる課題の抽出と対応策の検討	ウ.切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進	エ.医療・介護関係の情報共有の支援	オ.在宅医療・介護連携に関する相談支援	カ.医療・介護関係者の研修				キ.地域住民への普及啓発	ク.在宅医療・介護連携にかかる関係市町村の連携
						市内	南加賀(リーダー研修)	かかりつけ医研修	脳卒中連携バス研修 コラボ研修		
R2	○新規データベース上に訪問看護ステーション情報の追加 ○連携実務者全ての方と情報共有を図るため「いか〜す加賀便り」の発刊	○医療と介護の連携ワーキング ※新型コロナウイルス感染症の影響のため中止 ○加賀市在宅医療連携推進協議会 幹事会(R2.10.12) ・取組状況の確認、情報共有 ○在宅推進会議より連携課題等整理(毎月開催)	○今後の療養支援体制の強化を図るため、市の中核病院である加賀市医療センターと介護サービス事業者(居宅系)とが情報を共有するため、連携する介護職にアンケート調査を実施した。 ○アンケート調査を踏まえ、外来看護師とケアマネジャーとの意見交換を行った。	○ID-Linkの利用促進により連携を図った。	○地域連携センターつむぎを相談支援の窓口 に位置付け、在宅医療コーディネーターの配置の継続 ○随時相談 ○市の中核病院である加賀市医療センターと介護サービス事業者(居宅系)とが情報共有するため、アンケート調査や、意見交換会を実施して、療養支援体制強化を図った。	※新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止。	○加賀市在宅医療リーダー研修会 R3.1.13 「with コロナ 感染が疑われた方の対応と必要な連携」 講師：沼田 直子氏 近澤 博夫氏	※新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止。	○脳卒中連携バス研修 ※新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止。	・広報かが特集記事において、加賀市市民意識調査結果より「人生の最終段階における医療・療養についての考え」について掲載。	○県内他市町の取組状況について情報交換 ○在宅医療・介護連携推進事業研修会(第1回.3月)
R3	○在宅医療資源情報リストの随時更新 ○連携実務者全ての方と情報共有を図るため「いか〜す加賀便り」の5刊目で発刊	○医療と介護の連携ワーキング ※新型コロナウイルス感染症の影響のため中止 ○加賀市地域医療審議会(R4.3.1) ・取組状況の確認、情報共有 ○在宅療養支援チーム会議より連携課題等整理(毎月開催)	○在宅療養の薬剤管理には多職種が関わっており、課題等の現況を確認するためアンケート調査を実施 ○在宅療養関係機関がチームとなって、薬剤管理の課題解決を図った	○医療・介護との意思決定シートの活用(特養と加賀市医療センターとのACPを検討し、介護サービス事業者連絡会へ参加して提案した) ○リモートによる介護事業所と加賀市医療センターとの退院前カンファレンスの開催促進	○地域連携センターつむぎを相談支援の窓口 に位置付け、在宅医療コーディネーターの配置の継続 ○地域連携センターつむぎ内全員でコーディネート機能を分担 ○随時相談	※新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止。	○加賀市在宅医療リーダー連携研修会 R3.12.14 「本人の思いを大事にして関わるには」 ～身寄りのない人のケースから～ 講師：医療法人社団オレンジ オレンジホーム ケアクリニック 副院長 西出慎吾氏	※新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止。	○脳卒中地域連携バス研修会 R4.1.27 「自宅退院後の生活機能維持をみんなで考えよう」 症例検討によるグループワーク	○県内他市町の取組状況について情報交換 ○在宅医療・介護連携推進事業研修会(第1回.3月)	